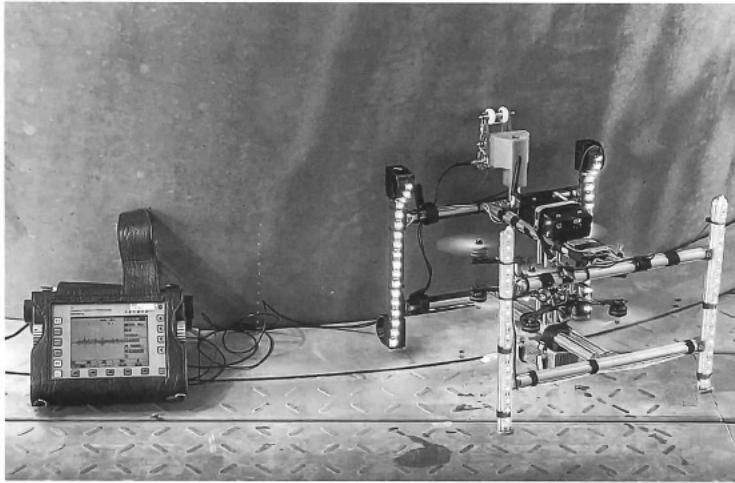


目視検査にUTM肉厚測定も

(12面から続く)



UTMドローン

金属製タンク内など鋼構造物内部の飛行では電波の干渉が起きやすく、制御不能になるなど一般的な産業用ドローンでは飛行が困難である。一方、同社では検査する構造物の大きさに合わせて通信条件を調整し、ドローンを製作しているため金属製タンク内外鋼構造物内部の電波の安定しない環境下でもコントローラーによる制御と映像のリアルタイム転送が可能な周波数帯での運用ができる専用の電波対策を行っている。

屋外ドローンはGPSやセンサーで位置や動きを制御するが、マイクロドローンの検査領域であるタンクや煙突内部など

は屋内にあるため、GPSが届かない上にセンサーやセンサーで位置や動きを制御するが、マイクロドローンの検査領域であるタンクや煙突内部など

は屋内にあるため、GPSが届かない上にセンサーやセンサーで位置や動きを制御するが、マイクロドローンの検査領域であるタンクや煙突内部など

は屋内にあるため、GPSが届かない上にセンサーやセンサーで位置や動きを制御するが、マイクロドローンの検査領域であるタンクや煙突内部など

(12面から続く)

(12面から続く)